



むなかた市議会だより

平成28年3月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=<http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html>
●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

主な事業

326億6028万円

普通会計

税金の
使いみちを
決定

平成28年度予算を
賛成多数で可決

平成28年第1回宗像市議会定例会が、2月29日から3月29日までの期間で開催され、市長提案の議案53件、議員提案の意見書3件、発議1件について審議を行いました。
今定例会では、平成28年度の予算を審議し、賛成多数で可決しました。
12ページに、予算の主な事業の概要、予算委員会での主な質疑、および委員から出された主な意見や要望を掲載しています。

定住化推進事業費

3



市HP定住推進サイト

2億5,585万円

家賃補助制度の見直しや新たな補助制度の導入などで、本市の定住化のさらなる推進を図る。

東郷駅駅前広場整備事業費

2



宗像大社口（旧北口）

7億4,710万円

平成30年度の整備完了を目標に、宗像大社の玄関口となる駅前広場整備工事などを行う。

世界遺産登録活動事業費

1



PR用DVD

5,743万円

平成29年の世界遺産登録に向けて、来訪者対策や構成資産の保護に関する調査などに取り組む。

生活困窮者自立支援事業費

6



福祉課自立生活支援係窓口

876万円

生活困窮者が、早期に自立した生活を送ることができるように、包括的な相談支援を行う。

体育施設改修事業費

5



市民体育館

1,420万円

スポーツ・サポートセンター事業を行うため、拠点施設と位置付ける市民体育館の増改築に向けた設計などを行う。

観光物産館整備事業費

4



道の駅むなかた

1億6,142万円

道の駅むなかたの拡張整備を行い、産業振興および観光の拠点としての拡充を図る。

主な質疑

1

世界遺産登録活動事業費

問 どのような体制で本事業を行っているのか。
答 景観保全管理、PR、来訪者対策の3つの部会を立ち上げており、その部会を取りまとめる形で、ものないよう業務を行っている。



2

東郷駅駅前広場整備事業費

問 平成28年度の事業内容は。
答 宗像大社口（旧北口）および南口の駅前広場整備を、平成27年度から引き続き行うとともに、八並川右岸の橋台築造工事に着手する。



3

定住化推進事業費

問 平成28年度に新たに導入する支援制度の目的は。
答 家賃補助制度の補助終了後、本市への定住を確保するため、受給者が市内で住宅を購入した際に支給する定住奨励金制度を新設。また、本市出身者の定住を誘導するために、親との同居または近居を支援する三世帯同居・近居支援補助金制度を新設する。

4

観光物産館整備事業費

問 道の駅の整備内容とスケジュールは。
答 駐車場、芝生広場、多目的スペースなどの拡張整備を行う。平成28年度は用地買収や測量設計などを行い、工事については平成29年度以降の実施を考えている。



5

体育施設改修事業費

問 スポーツ・サポートセンターでどのような支援を行うのか。
答 コミュニティや学校などに対して、スポーツ事業の企画立案の支援、指導者の派遣、プログラムの提供などを考えている。また、民間のスポーツ団体も含めた各団体などで構成する運営協議会を立ち上げ、それぞれの課題を持ち寄り議論することで、課題解決を図っていく。

6

生活困窮者自立支援事業費

問 どのような相談体制で実施するのか。
答 社会福祉関連の資格を持ち、経験を有する主任相談員・面接相談員・相談支援員、および就労支援の相談員の4人体制で実施する。



※1 スクールソーシャルワーカー子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所と提携したり、教員を支援したりする福祉の専門家。

※2 パークアンドライドー自宅から自家用車で最寄りの駅やバス停まで行き、駐車後に公共交通機関を利用し目的地に向かうシステム。

- 地方都市間の生き残りの競争の中、今年やらないといつやるんだというぐらいの危機感を持って事業を行ってもらいたい。
- 地域経済の活性化や地場企業の育成などについては、金融機関などの専門家のアドバイスも取り入れ、客観的にその事業の効果を図ってほしい。
- 事業費が削減されている中、バランス良く組まれた予算である。世界遺産登録および全国豊かな海づくり大会に向けての準備は大変であるが、万全を期してもらいたい。

● 予算委員会では出された主な意見や要望 ●

- これから、世界遺産登録活動などで本市の知名度が上がっていく。定住化推進、観光振興および離島振興の最大のチャンスであるので、自信を持って頑張ってもらいたい。
- 農業施策については、農業だけでなく地域を守るという観点で対応してほしい。財政運営は、受益者負担や補助金の見直しなど、より一層、経費削減に努めてもらいたい。
- 定住化推進は、今回の制度見直しを踏まえて円滑に事業を進め、人口維持につなげてほしい。ス
- ポーツ観光推進は、来訪者数・宿泊者数の目標を達成するように計画的に行ってほしい。
- 世界遺産登録に重点を置くために、福祉や教育の予算が削られることがあってはならない。保育所の待機児童対策や学童保育の施設改修などに十分な予算を組むべきである。
- 現在、法律や条例などに基づく制度で救えない人たちがたくさん存在する。その人たちに寄り添うような事業に、もっと力を入れていくべきである。

7 教育・保育施設型 給付事業費



17億8,978万円

新たに認定こども園を2園開園するとともに、保育士などの確保を図るための無料職業紹介所を平成28年4月に開設する。

8 教育相談事業費



542万円

平成27年度に県の事業として導入したスクールソーシャルワーカー（※1）を、平成28年度は市の予算で配置する。

10 都市戦略 推進事業費



日の里団地

4,040万円

日の里・自由ヶ丘団地の再生に向けた取り組みやパークアンドライド（※2）導入に向けた実証実験などを行う。

9 離島振興事業費



大島ふれあい牧場

2,187万円

貴重な島の資源を活かした交流の促進や島の産業強化など、島民が島で元気に安心して生活できる環境を整備する。

平成28年度特別会計・ 公営企業会計予算を可決

特別会計

222億5012万円

公営企業会計

41億1662万円

国民健康保険特別会計

▽国民健康保険税については、税率を引き下げる改定を行うため、保険税収入は、前年度比約1億5千万円、6.2%減の予算を計上している。

主な質疑

問 平成25年度と27年度は保険税を値上げしたが、値上げの必要はなかったのではないか。

答 国民健康保険は短期保険であり、毎年度、歳出に見合った適切な税率を設定し、保険収支を均衡させることが事業運営の基本となっている。

問 糖尿病性腎症重症化予防事業の平成28年度の取り組みは。

答 糖尿病性腎症から人工透析へ移行しないよう疾病管理を行うもので、平成28年度は10人分の予算を計上し、重点的に取り組む。



下水道事業会計

▽長寿命化基本計画に基づき、宗像終末処理場などを対象に、平成28年から33年の6力年で総額30億円の第2期改築更新工事に着手する。

主な質疑

問 改築更新工事について、多額の予算が計上されているが、下水道料金を値上げすることはないのであるか。

答 投資する金額を平準化した収支計画とするなどの考慮を行っている。現在の推移でいくと、料金を改定せず運営ができると思込んでいる。

問 宗像終末処理場で発生する消化ガスを活用した発電施設が10月から稼働する予定である。本市に建設するバイオマス発電施設などを含めた市の環境問題への考えは。

答 市の温暖化防止対策の方針に沿って、整合性を図りながら取り組む。

渡船事業特別会計

▽現船の老朽化に伴い、平成28年度から29年度の2力年度で総事業費6億9千万円の新船の建造事業に着手する。

主な質疑

問 新船の建造費について、前回建造時の倍以上の予算を計上している理由は。

答 大きな要因は、新船がバリアフリー対応の構造となっていることである。また当時と比較して、人件費、材料費などの物価が上昇したことも影響している。



●●●提出議案と議決結果●●●

3月定例会で審議し、可決した議案のうち、賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案名	議員氏名 議決結果	井上正文	吉田剛	森田卓也	高原由香	安部芳英	岡本陽子	北崎正則	伊達正信	杉下啓恵	神谷建一	花田鷹人	福田昭彦	小島輝枝	新留久味子	石松和敏	小田英俊	植木隆信	末吉孝
宗像市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
宗像市国民健康保険給付費支払基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成27年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成28年度宗像市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成28年度宗像市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成28年度宗像市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
軽減税率の円滑な導入に向け事業者支援の強化などを求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆

※吉田益美議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

今回の一般会計補正予算の主な内容は次のとおりです。

①国の補正予算にかかる主な事業
(5億3440万2千円)

◇年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業（3億9553万4千円）を新設。

◇情報セキュリティ強化のため、パソコン等関係業務管理委託料を3080万円増額。

◇保育士の待遇改善のため、保育所保育実施委託料を2887万9千円増額。

◇マイナンバー関連経費として2396万8千円増額。

◇大規模国際大会キャンプ地誘致を核としたスポーツのまちづくりを推進するため、2070万円増額。

◇国際会議や展示会などの誘致による地域経済の活性化を図るため6200万円増額。

②各基金の運用による財産運用収入は、4億2600万2千円増の6億329万9千円

宗像市自動車駐車場条例の一部を改正する条例を制定

東郷駅南口に有料自動車駐車場を新たに設置することに伴い、宗像市自動車駐車場条例の一部を改正する条例案が市長から提案されました。

(明らかになった主な事項)

東郷駅前広場整備事業により、平成28年5月末に、東郷駅南口自動車駐車場（15台分）が完成予定。

主な質疑

問 財産運用収入が非常に増えている理由は。

答 基金総額は約190億円あるが、そのうち約140億円は国債を運用し、売買を頻繁に行っている。その結果の運用益が増えたためである。しかし、マイナス金利などの影響で、今後の運用は厳しくなると考えている。

3件の意見書を可決し、国へ提出しました。

無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書

〔全員賛成で可決〕

(要旨) 地域住民の生活環境の改善や地域の活性化、防災性の向上や安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興を求める。

等観点から、無電柱化の取り組みを計画的かつ迅速に推進できるよう、無電柱化の推進に関する法律案の早期成立を強く求める。

意見書

3件の意見書を可決し、国へ提出しました。

無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書

〔全員賛成で可決〕

(要旨) 地域住民の生活環境の改善や地域の活性化、防災性の向上や安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興を求める。

等観点から、無電柱化の取り組みを計画的かつ迅速に推進できるよう、無電柱化の推進に関する法律案の早期成立を強く求める。

意見書

児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

〔全員賛成で可決〕

(要旨) 平成27年12月、すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクトにおいて策定した「児童虐待防止対策強化プロジェクト」の方向性を踏まえ、児童虐待発生予防から発生時の迅速かつ的確な対応、自立支援に至るまでの一連の

対策強化のため、児童福祉法等を早期に改正することを強く求める。

意見書

軽減税率の円滑な導入に向け事業者支援の強化などを求める意見書

〔賛成多数で可決〕

(要旨) わが国の消費税において初の複数税率導入に伴い、流通過程のすべての段階において、多くの事業者の事務負担をできるだけ軽減するための必要な措置が講じられるよう強く求める。



会派の主張

会派とは、市政に対して同じ考えを持った議員の集まりです。

宗像市議会には、平成28年3月定例会現在で、8つの会派があります。それぞれの会派の活動方針などを紹介します。

※会派の構成人数の多い順および届出順に掲載

宗像志政クラブ

代表 神谷 建一

「未来に輝くふるさと」を市民とともに創る

私たちの会派は、議会のリーダーである議長をはじめ7人で構成する最大会派です。農業、商工業、教育、観光など、それぞれの議員が得意とする分野を共有しながら、宗像市の将来について調査、研究、議論し、政策提案をしています。

その際ポイントとなるのは、政策について①市民のためになるのか②市民が望んでいるのか③市民は理解しているのかという3

点であります。

そのために、各種団体との意見交換会や地域座談会など、日々市民の方の声をお聞きしながら、ともに「未来に輝くふるさと」を創ってまいります。

私たちの「壮大な構想」「確実な実行」に、市民の皆さまからの積極的なご助言・ご指導をいただきますようお願い申し上げます。



〔後列左から〕井上正文議員、伊達正信議員、小島輝枝議員、吉田剛議員
〔前列左から〕吉田益美議長、神谷建一議員、花田鷹人副議長

とびうおクラブ

代表 北崎 正則

「市政に息吹きを」とびうおクラブ

三人一緒に初当選し、四年目を迎えます。この間、市民目線・市民感覚でさまざまな指摘と提案をさせていただき、市政に少しずつ反映させることができている。議員として大きな喜びと責任を感じたしております。

今までの取り組みとして、○スポーツと健康づくり（財政面を考慮した新体育館の建設見直し、健康づくりの推進）○観光と産業で地域の活性化

（世界遺産関連や道の駅むなかた周辺の整備、農業・漁業支援）○教育のさらなる充実（学習支援体制や体験学習の充実、特別支援教育の推進）などが挙げられます。

今後も、皆さんのお声と私たちの思いを一つにし、市民の代表者として、期待に応えられるよう取り組んでまいります。

「初心を忘るべからず」

日本共産党

代表 末吉 孝

住んでよかった！
元気な宗像をみなさんと！

安倍自公政権は、日本を海外で戦争する国にする「戦争法」の強行に続き、憲法の明文改正を目指すなど、平和主義・立憲主義を大きく壊そうとしています。

経済ではGDP減少で国民所得の低下をもたらす一方で、一部の大企業だけが空前の利益を上げ、内部留保資金を積み増すというアベノミクスの失敗が明らかになっています。国民生活では、医療・

福祉・年金など社会保障のあらゆる分野で削減を強化し、新たな貧困の拡大が大きな社会問題となっています。

市政においては、共産党議員団で市民アンケート調査を行い、2千人超の方に回答をいただきました。既存3体育館存続と総合スポーツセンター建設見直しや、市民の大きな負担となる国保税引き下げに、市民の皆さんと運動してきました。



〔左から〕末吉孝議員、新留久味子議員、植木隆信議員



〔左から〕安部芳英議員、北崎正則議員、森田卓也議員

公明党

代表 石松 和敏

市民の「生の声」を
聞き政策実現へ

公明党は1964年に結党。「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」の指針のもと、大衆福祉の実現を目指し活発に活動を展開。14年には結党50年の佳節を迎えました。

公明党は平和の党、福祉の党、環境の党、クリーンな政党として、どこまでも平等と人間主義の拡大に努めてきました。

私たちは庶民の代表として「生活者の視点」に立つことを信条に、地域や市民の中に入り根を張ることを目指しています。日常の活動を通して市政に多くの政策提言を行い、その中から数多くの成果が実現しています。例えば、プレミアム付き商品券、学校トイレの改修、乳幼児医療費無償化拡充、健診でのピロリ菌検査の導入などです。

今後とも、市民から期待され頼られる議員を目指し活動してまいります。



〔左から〕岡本陽子議員、石松和敏議員

宗像市民クラブ

代表 小田 英俊

市民に優しい事業を応援します

合併後13年、宗像市民クラブは、「市民に優しく」を基本理念にさまざまな事業を応援してきました。

高齢化が進む中、運転免許証の自主返納によるふれあいバスなどの利用促進は、高齢者の自動車事故防止も期待され、高齢者に優しい事業であり、今後も応援していきます。

地域防災では、自主防災組織充実、防災士育成を推進し、災害時にコミュニティ・センターが市民を優しく守る防災拠点となるよう応援します。

定住化施策では、古家解体費や家賃の補助制度により、新しく市民となる方々を経済的に優しく迎え入れる事業を引き続き応援していきます。



小田英俊議員

ふくおか市民政治ネットワーク

代表 杉下 啓恵

子育て・介護をひとりぼっちにしないまちに

ふくおか市民政治ネットワークは、何よりも「いのち」が最優先にされ、子どもたちの未来に責任が持てる社会を目指しています。

子ども・若い世代・女性の貧困や高齢者の生活不安は、宗像市においても深刻な課題になっています。また、本市の財政状況も決して余裕のあるものではなく、市の事業については取捨選択が必要になっています。

子育てや介護の悩みや問題を個人で抱え込み、声を出せないでいる人はいないでしよつか。その不安に寄り添い、解決のための手立てを打つのが市政の役割です。互いに支え合うやさしいまちは、誰もが安心して暮らせるまちです。

ふくおか市民政治ネットワークは、市民の皆さんと生活課題を共有し、税金の使途や必要な制度を一緒に考えていきます。



杉下啓恵議員

市民連合

代表 福田 昭彦

市民目線で市の財政を厳しくチェックする

宗像市の平成28年度の予算が成立した。一般会計の総額は市債の繰上償還をしない分だけ対前年比で少し減少したが、実質の予算規模は年々増加の一途だ。自分の稼ぎ【市税】は相変わらず少なく、頼みの綱の親【国】からの仕送りが減る一方。それに加え社会保障費は年々増加の一途だ。私が宗像市議会議員になってはや3期、12年目となった。企業の財務分析を専門とするファイナンシャル・プランナーである私は行政と企業の財務感覚の違いに違和感を抱くことが多くある。莫大な借金を背負った国からの仕送りに頼っている宗像市の財政は今後も厳しい状況が続く。福祉だ、教育だと政策を語る前にお金がなければ何もできないのが現実だ。そのような事態にならないように市民目線で厳しく財政を監視していく。



福田昭彦議員

みらいの和み宗像

代表 高原 由香

時代に対応した人に優しいまちづくり

新会派を立ち上げ一年がたちました。「みらいの和み」には、今日より明日へと未来を見つめ、和（なごみ）ある「宗像」の実現に向けて「夢」と「希望」を持つて心安らかに過ごせるまち、そして、人に優しいまちであってほしいという願いを込めています。

基本理念は「未来に夢と希望の持てるまちづくり」。行動指針は「夷険一節」。順調な時も、どんな逆境の時にも、態度、姿勢が一貫していることです。そして、常に運動の基軸に「人」を置いて、人が幸せになるために、世の中のあらゆるモノ、コトが存在するというのが、基本的な考え方です。私たちのまち「宗像」に生まれ育ち、暮らす人々が、郷土への誇りを持てるまちづくりを、時代に対応しつつ共に進めていきたいと願っております。



高原由香議員

代表質問

代表質問とは、各年度の市政の基本方針である施政方針に対して、2人以上で構成する会派の代表質問者がその見解を問うものです。

○平成28年3月1日に、4つの会派を代表する議員が、平成28年度の施政方針に対して質問を行いました。

○平成28年度の施政方針は、4月1日号のむなかたタウンプレスや市ホームページに掲載しています。

宗像志政クラブ



代表質問者 小島 輝枝

古代から受け継ぎ未来へつなぐ

来年の世界遺産登録が現実味を帯びてきた。
問 世界遺産の玄関口となる東郷駅前バス停名を東郷駅宗像大社口に変更できないか。また来訪者のために観光案内所を設置してはどうか。
答 バス停名変更は来訪者の利便性向上に有効であり、西鉄に相談する。

また、案内機能も必要なので、案内所の設置を含め今後考えていきたい。
問 世界遺産センター整備の市長の考えとスケジュールを伺う。
答 福岡県、福津市との三者協議や施設の機能、運営、景観などを配慮すると、平成31年度が期限の合併特例債による整備

とびうおクラブ



代表質問者 森田 卓也

施政方針について

問 本市のいじめ・自殺問題への取り組みは。
答 いじめをしない、させない、見逃さないという強い決意のもと、学校と教育委員会が一体となり、いじめ防止に向けた取り組みを強化している。
問 世界遺産登録のブームは2年程度といわれる。
答 長続きする観光のまちにするため、来訪者目線のサービス提供が必要では。

来訪者に対し、遺産群の価値を分かりやすく伝えることが重要。世界遺産センター建設やボランティアガイドの協力、宗像大社神宝館との連携を強化したい。

は断念せざるを得ない。
問 新規事業と継続的事業を実施するに当たっては、バランスが大切である。アセットマネジメント計画で具体的に示している地島小学校、河東小学校、城山中学校の改築などの整備事業は、財政的に実現できるのか。

答 アセットマネジメント推進計画は、長期の財政見通しを踏まえて策定しており、計画の中には、地島小学校の大規模改修、河東小学校の長寿命化改修、城山中学校の改築を行うこととしている。

問 景観の保全は重要だが、過剰な保全についてどう考えるか。
答 良好な景観の形成に保全だけではなく、新しくつくり出すことも必要。本市の場合も保全と修景(※3)や創出に取り組む。

問 豊かな海づくり大会を契機に何をなすべきか。
答 宗像の水産業を全国にPRする絶好の機会であり、更なる水産事業の推進を図っていく。



宗像大社辺津宮

(※3) 修景…自然の美しさを損なわないように風景を整備すること。



沖ノ島

公明党



代表質問者 石松 和敏

持続可能な自治体経営の継続を

問 公共施設維持更新などの将来を見据えた重点事業への対応を強化した予算編成とのことだが、将来世代に負担を先延ばししない継続的な財政運営を行うべきと考えるが。
答 公共施設維持更新は基金などを効果的に活用し計画的に実施する。必要事業やサービスを継続的に提供するためには、さらなる事業の重点化、効率化が必要と考える。
問 ストック情報の欠如や事業費のフルコストを把握するマネジメントができない現行会計制度を補完するため、新地方公会計を導入していく必要

日本共産党



代表質問者 末吉 孝

市政運営方針について

問 世界遺産登録を見据えたアクセス道路として、八並交差点から村山の旧3号線へアンダーパス道路が計画されているが、無駄な工事ではないか。
答 県が県道改良事業として着手したものであるが、安全性と国道3号線からの利便性の向上を図るため必要だと考える。
問 農業政策で、担い手農家の経営規模拡大方針を今後も続けるつもりか。
答 引き続き規模拡大を支援していく。
問 定住補助制度はどのように見直すのか。
答 家賃補助は交付期間延長、最低家賃月額の見直し、対象を転入者に限定した。リフォーム補助は市内業者による工事を要件とし、額も見直した。

問 学童保育事業について吉武地区の実践が高く評価されているが、他の小学校区についてはどのようになっているのか。
答 地域の子どもは地域で育成するということあるべき姿が実現できるため、運営を希望するコミュニティがあれば拡大したい。



吉武小学童保育所



一年間の成果を表す決算関係資料

があるが進ちよくは。
答 新公会計システムは平成29年度稼働を目指し、固定資産情報の精査を実施中。平成28年度は職員向けの研修の開催、分析・活用方法の検討や情報共有などを行う予定。

平成28年3月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

平成28年3月2日～4日の3日間にわたって、13人の議員が合計26項目の質問を行いました。

- 議員が質問を行った順に掲載しています。
- 掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- 質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは5月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



持続可能な行政経営 とびうおクラブ／安部 芳英

問 平成26年12月議会で提案したクラウドファンディング・CF（※4）とソーシャルインパクトボンド・SIB（※5）の進捗よく状況は。

答 CFは平成28年度に試行的に実施予定。SIBは調査研究を進めている。

公共施設などの 適切な維持更新

問 城山中学校の建築物としての課題は何か。

答 築42年が経過し、老朽化に伴う対策が一番の課題である。

問 城山中学校は、コン



城山中学校校舎



指定管理者制度の運用について 宗像志政クラブ／伊達 正信

問 次回の赤間駅前駐輪場管理者として、シルバー人材センターを非公募で選定できないか。

答 前回の指定管理者の選定以降、選考ルールに何ら変更はないので、前回と同様公募となる。

問 今後各コミュニティ運営協議会が学童保育事業に取り組みとした場合、当初の指導員の確保はどうなるのか。

答 4月に開設する無料職業紹介所への有資格者の登録を推進し、学童保育所に指導員を紹介できる体制を整えたい。



宗像の教育の充実をはかるために とびうおクラブ／北崎 正則

問 「自立しなかかりを深める子ども育成」についての成果は。

答 成果指標として、自立は全国学力・学習状況調査において全国平均の5ポイント以上、かわわ

問 教育アクションプラン作成にあたり留意点は。

答 市の施策、児童・生徒の実態を踏まえ、



城山中学校校舎



宗像らしさを生かしたまちづくり みらいの和み宗像／高原 由香

問 本市の他市にない強み、特色といえる資源は。

答 訪れた人をもてなし、宗像の価値や魅力を伝える「宗像の人」が最大の宝だと考えている。

問 来訪者に、「宗像に住んでみたい」と感じてもらう上で必要なことは何か。

答 魅力的な資源をもとに、本市の多様なライフスタイルを来訪者に知ってもらいたいと考えている。

問 来訪者の回遊性を市内全域に広げるため、赤馬館の今後の展開は。

答 東部4地区をはじめ



28年度農業重点施策について 宗像志政クラブ／花田 鷹人

問 担い手農家の規模拡大の具体策は。

答 国の農地集積バンク事業を活用する。

問 企業の農業参入の具体策は。

答 JAなどの合同ヒアリングの場を設け総合的なアドバイスを行うとともに、農地の紹介や地元関係者との意見調整を行うなど支援をしていく。

問 小規模農家への支援策は。

答 農地集積への協力を促す一方で、集落営農組織や農事組合法人の設立に向けた情報提供やアドバイスをし、地域で農業



城山中学校校舎



在宅医療、介護の充実を 公明党／岡本 陽子

問 住み慣れた地域で医療、介護をするために考えられる課題、対応は。

答 行政、医療機関、介護関係事業者などが連携し、それに加えて市民の理解、協力が不可欠である。

問 介護する家族の負担軽減や認知症に対する支援体制は。

答 地域包括支援センターの専門職に加え、市民団体に相談業務を委託し、介護者の負担軽減を図っている。また、認知症サポーターなどの養成を行い、認知症を理解できる人材の育成を行う。

問 その他の質問

答 ひとり親家庭支援の充実を



子どもの発達と電子メディア ふくおか市民政治ネットワーク／杉下 啓恵

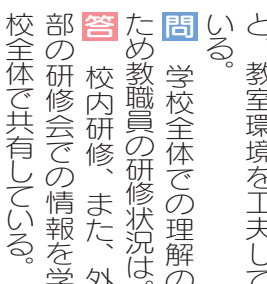
問 電子メディアが子どもの心身の発育に及ぼす弊害を考えると、接触を減らす取り組みが必要。

問 乳幼児の保護者に行っている取り組みは。

答 発達段階に応じた啓発活動を進めている。

問 外遊びや昔遊びを伝えることも大切では。

答 プレーパークや子どもの居場所づくりを地域、団体と協働で行っている。



城山中学校校舎



帰国児童と外国人児童への対応は 宗像志政クラブ／吉田 剛

問 本市の小学校における帰国児童と外国人児童の人数と対応は。

答 通学している人数はそれぞれ6人と13人。加配教員や学力向上支援教員、学生ボランティアや留学生の協力も受け日本語指導にあたっている。

問 本市に外国人児童不就学の問題はあるか。

答 住民登録のない児童

問 その他の質問

答 九大「環境・遺産デザインプロジェクト」成果発表に際して、観光プラットフォームに必要な機能は

※4 クラウドファンディング…CFがある目的のため、インターネットを通じて支援者から資金を集める手法。
※5 ソーシャルインパクトボンド…SIBは行政と民間事業者が連携して、社会問題の解決や行政コスト削減を図るために導入された、社会的投資の仕組みの一つ。



今がチャンス、本市の定住化施策
宗像志政クラブ／神谷 建一

世界遺産登録に向け本市の知名度が上がる中、定住化施策は重要である。

働く場所の確保として、企業誘致の今後は、民間の力を借りて、二丁の把握や候補地にふさわしい業種の絞り込みを行い、誘致していく。

若い世代の定住化を図る家賃補助制度の効果および今後の方針は、

4年間で市外から2089人の転入があった。今後は、制度の見直しを踏まえ、さらに効果を高めていく。

今後人口減少が見込

問 今後人口減少が見込



住宅リフォーム予算の拡充を
日本共産党／植木 隆信

28年度は住宅リフォーム商品券発売額が8千万円から3千万円に大幅に減少する。リフォーム補助を希望者全員が受けられるよう、予算の拡充を求める。

住宅をリフォームする市民やそれを請け負う市内事業者への支援は、本事業以外の制度も充実しており、市の財政負担

28年度は住宅リフォーム商品券発売額が8千万円から3千万円に大幅に減少する。リフォーム補助を希望者全員が受けられるよう、予算の拡充を求める。

住宅をリフォームする市民やそれを請け負う市内事業者への支援は、本事業以外の制度も充実しており、市の財政負担

28年度は住宅リフォーム商品券発売額が8千万円から3千万円に大幅に減少する。リフォーム補助を希望者全員が受けられるよう、予算の拡充を求める。

住宅をリフォームする市民やそれを請け負う市内事業者への支援は、本事業以外の制度も充実しており、市の財政負担

28年度は住宅リフォーム商品券発売額が8千万円から3千万円に大幅に減少する。リフォーム補助を希望者全員が受けられるよう、予算の拡充を求める。

住宅をリフォームする市民やそれを請け負う市内事業者への支援は、本事業以外の制度も充実しており、市の財政負担

問 28年度は住宅リフォーム商品券発売額が8千万円から3千万円に大幅に減少する。リフォーム補助を希望者全員が受けられるよう、予算の拡充を求める。



沖ノ島の選地を整備しては
宗像志政クラブ／井上 正文

沖ノ島を本土側から眺望できる場所を地域の皆さんと整備しては、

さつき松原にある展望所への案内プレートを設置、選地スポットを記した地図の作成などに、

福津市も含め、地域住民と共に取り組む。

宗像版「子ども議会」を開催してはどうか。

政治への関心を高める取り組みとしては、学年に応じた学習を行っている。開催は、既に実施している自治体の状況などを調査して検討する。

保育環境の充実、待機児童問題、保育士確保

問 政治への関心を高める取り組みとしては、学年に応じた学習を行っている。開催は、既に実施している自治体の状況などを調査して検討する。

保育環境の充実、待機児童問題、保育士確保

問 政治への関心を高める取り組みとしては、学年に応じた学習を行っている。開催は、既に実施している自治体の状況などを調査して検討する。



市独自で保育士確保の支援策を
日本共産党／新留 久味子

保育士の確保は、緊急で最優先の課題である。

保育士家賃補助制度を検討できないか。

制度的なものを検討していきたい。

保育士確保には良好な労働条件に改善することが重要。保育士の休憩時間を保障するパート職員雇用の補助制度を検討できないか。

問 保育士の確保は、緊急で最優先の課題である。

保育士家賃補助制度を検討できないか。

制度的なものを検討していきたい。

保育士確保には良好な労働条件に改善することが重要。保育士の休憩時間を保障するパート職員雇用の補助制度を検討できないか。

問 保育士の確保は、緊急で最優先の課題である。



中体連の試合派遣補助金
市民連合／福田 昭彦

心身の鍛錬と成長のために多くの中学生が部活動を行っている。その成果の最大の発表の場が、中体連(※8)や中文連(※9)が主催する大会である。勝ち上がっていくと遠征費が大きな負担となってくる。近年、貧困家庭が増えているが、遠征費を自己負担できないという理由で貴重な機会を失わせてはならない。本市の遠征費に対する補助金の考え方はどうか。

学校教育活動の一環で行われる部活動運営を支援するため、中体連・中文連が主催・共催する

心身の鍛錬と成長のために多くの中学生が部活動を行っている。その成果の最大の発表の場が、中体連(※8)や中文連(※9)が主催する大会である。勝ち上がっていくと遠征費が大きな負担となってくる。近年、貧困家庭が増えているが、遠征費を自己負担できないという理由で貴重な機会を失わせてはならない。本市の遠征費に対する補助金の考え方はどうか。

学校教育活動の一環で行われる部活動運営を支援するため、中体連・中文連が主催・共催する

心身の鍛錬と成長のために多くの中学生が部活動を行っている。その成果の最大の発表の場が、中体連(※8)や中文連(※9)が主催する大会である。勝ち上がっていくと遠征費が大きな負担となってくる。近年、貧困家庭が増えているが、遠征費を自己負担できないという理由で貴重な機会を失わせてはならない。本市の遠征費に対する補助金の考え方はどうか。

学校教育活動の一環で行われる部活動運営を支援するため、中体連・中文連が主催・共催する

心身の鍛錬と成長のために多くの中学生が部活動を行っている。その成果の最大の発表の場が、中体連(※8)や中文連(※9)が主催する大会である。勝ち上がっていくと遠征費が大きな負担となってくる。近年、貧困家庭が増えているが、遠征費を自己負担できないという理由で貴重な機会を失わせてはならない。本市の遠征費に対する補助金の考え方はどうか。

学校教育活動の一環で行われる部活動運営を支援するため、中体連・中文連が主催・共催する

心身の鍛錬と成長のために多くの中学生が部活動を行っている。その成果の最大の発表の場が、中体連(※8)や中文連(※9)が主催する大会である。勝ち上がっていくと遠征費が大きな負担となってくる。近年、貧困家庭が増えているが、遠征費を自己負担できないという理由で貴重な機会を失わせてはならない。本市の遠征費に対する補助金の考え方はどうか。



議員研修会

1月27日朝倉市総合市民センターで開催された福岡県中部十市議会議長会議員研修会に参加しました。

福岡地域戦略推進協議会事務局長の石丸修平氏より、「産学官民が一体となつた地方創生の可能性」をテーマとした講演があり、国からも地域活性化のモデルとされている同協議会の事例について学びました。

広域的な官民連携を推進していく上でも大変参考になる内容でした。

福岡地域戦略推進協議会事務局長の石丸修平氏より、「産学官民が一体となつた地方創生の可能性」をテーマとした講演があり、国からも地域活性化のモデルとされている同協議会の事例について学びました。

広域的な官民連携を推進していく上でも大変参考になる内容でした。

福岡地域戦略推進協議会事務局長の石丸修平氏より、「産学官民が一体となつた地方創生の可能性」をテーマとした講演があり、国からも地域活性化のモデルとされている同協議会の事例について学びました。

広域的な官民連携を推進していく上でも大変参考になる内容でした。

福岡地域戦略推進協議会事務局長の石丸修平氏より、「産学官民が一体となつた地方創生の可能性」をテーマとした講演があり、国からも地域活性化のモデルとされている同協議会の事例について学びました。

広域的な官民連携を推進していく上でも大変参考になる内容でした。

6月定例会の日程

日程	内容
6/1 水	本会議(議案上程、提案理由の説明)
2 木	本会議(一般質問)
3 金	本会議(一般質問)
9 木	本会議(一般質問、大綱質疑)
10 金	本会議予備日
13 月	総務常任委員会
14 火	社会常任委員会
15 水	建設産業常任委員会
16 木	予算第1特別委員会(※)
17 金	予算第2特別委員会(※)
20 月	委員会予備日
24 金	本会議(委員会報告、質疑、討論、採決)

(予定)

平成27年度
政務活動費収支報告書
を公開します

6月中旬公開予定

政務活動費とは議員の施政に関する調査研究、その他の活動に必要な経費として交付されるものです。

宗像市では、議員個人に月額2万2千円(月額26万4千円)を交付しています。

宗像市議会では平成23年度から、領収書を添付した収支報告書を公開しています。

収支報告書の閲覧の方法

- ①議会のホームページで閲覧する
- ②市役所3階の議会事務局で申請をして閲覧する

市議会のくわしい
情報や議会中継は
ホームページを
ご覧ください。

宗像市議会

検索



ホームページQRコード

お問い合わせは
議会事務局へ
Tel.0940(36)1119

編集後記

先日、小・中学校で卒業式が行われました。剣道の練習で小さい頃から一緒に汗を流した子どもたちが、いつの間にか、たくましくなって卒業していく姿を見て熱いものがこみ上げてきました。子どもたちが立派に成長するために、安心して暮らせる環境を整えることが市議会議員としての自分の役割だと改めて認識させられました。

福田 昭彦